



だれもが、いつでも、どこでも、運動・スポーツに親しむ

主担当部局：くらし創造部



曾爾村、鎧岳をバックに走るサイクリスト

目指す姿

「生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」を実現するため、生涯にわたり、「県民のだれもが、いつでも、どこでも、運動・スポーツに親しめる環境づくり」を目指します。



● 1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施し、1年以上継続している人の割合を

平成29年度までに

43%

に増やします。

(平成24年度：36.4%)

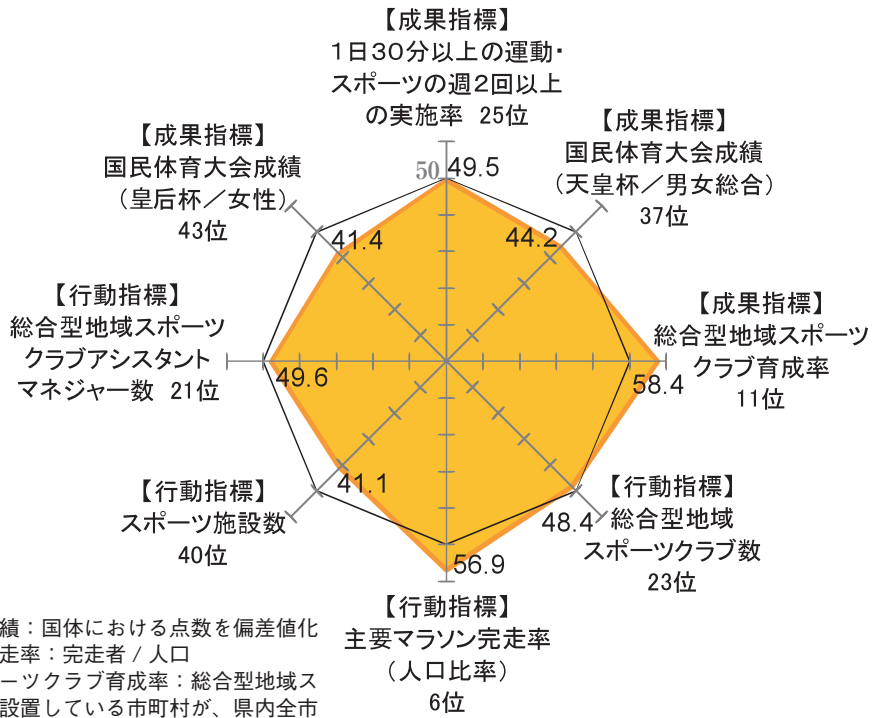
平成34年度までに

45%

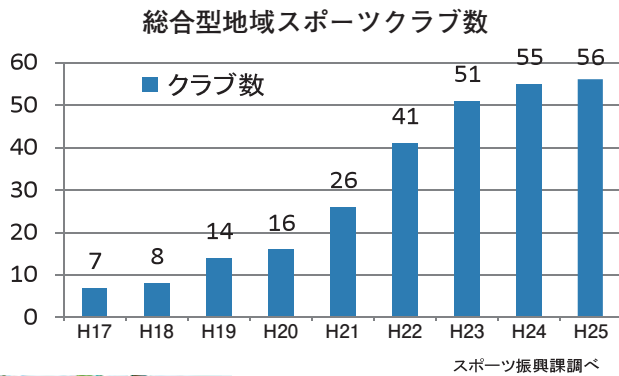
に増やします。

分析

■ 主な指標



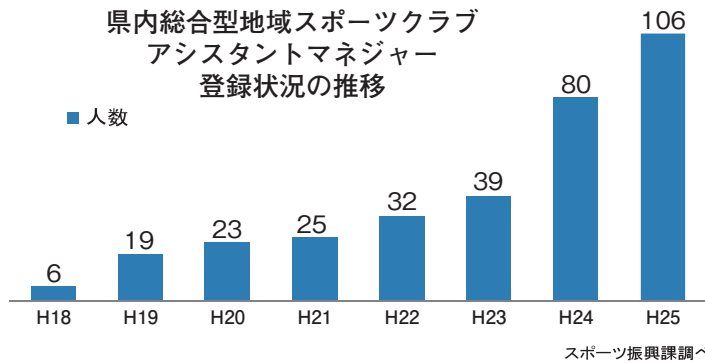
※国民体育大会成績：国体における点数を偏差値化
主要マラソン完走率：完走者/人口
総合型地域スポーツクラブ育成率：総合型地域ス
ポーツクラブを設置している市町村が、県内全市
町村に占める割合



奈良マラソンでのボランティア



400m リレー大会



- 総合型地域スポーツクラブ数は、平成24年度の55クラブから、平成25年度は56クラブと、少しずつですが市町村に対する支援が増加につながっています。
- 総合型地域スポーツクラブアシスタントマネジャー数は、平成24年度の80人から、平成25年度の106人と、クラブ運営の必要性から資格取得者の増加につながっています。

戦略1

だれもがいつでもスポーツを楽しめる環境の整備を図ります。

主担当課：くらし創造部 スポーツ振興課

目標

- ▶ **総合型地域スポーツクラブ数を平成29年度までに100クラブ、平成34年度までに150クラブに増やし、だれもがいつでも気軽にスポーツを楽しむことの出来る場を提供します。** (平成25年度：56クラブ)

取り組み

総合型地域スポーツクラブによる基盤づくり

ライフステージに応じた運動・スポーツの推進

障害者の運動・スポーツの推進

アリーナの整備検討

身近な公共施設等の活用



剣道教室 (総合型地域スポーツクラブ)



車いすバスケット

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総合型地域スポーツクラブによる基盤づくり				
◎総合型地域スポーツクラブの設立・育成		設立・育成等の支援、啓発活動		
ライフステージに応じた運動・スポーツの推進				
◎トップアスリートと子どもとの交流イベント等の実施		交流イベントの実施		
◎リレーマラソン大会の実施		大会の実施		
◎高齢者スポーツ文化交流大会の開催		交流大会の実施		
障害者の運動・スポーツの推進				
◎障害者スポーツフェスティバルの開催		フェスティバルの実施		
◎奈良県障害者スポーツ大会の開催		スポーツ大会の実施		
アリーナの整備検討				
◎アリーナに係る基本構想の検討		基本構想の策定	設置場所等の検討	
◎健康ステーション設置促進	1ヶ所設置	2ヶ所設置	充実実施	市町村での設置検討
◎スイムピア奈良を核としたスポーツ拠点整備	工事 (H26.7オープン予定)			
身近な公共施設等の活用				
◎橿原公園におけるナイトランの実施		ナイトランの実施		

戦略2

地域で楽しむスポーツ、あこがれ・感動を生むスポーツの推進を図ります。

主担当課：くらし創造部 スポーツ振興課

目標

- ▶ **スポーツイベント**（総合型地域スポーツクラブ交流大会）の参加者数を平成29年度までに**5,000人**、平成34年度までに**10,000人**に増やし、スポーツツーリズムを推進します。（平成24年度：1,149人）
- ▶ 県内外で活躍できるスポーツ選手を育成する体制の整備を進め、競技力の向上を図り、**国民体育大会での総合成績**を平成34年度までに**20位台**に上昇させます。（平成25年度：37位）

取り組み

トップアスリートの育成

地域トレーニングセンター機能の整備検討

ラグビーワールドカップ・東京五輪
キャンプ地招致に向けた調査・検討

プロスポーツによる地域の振興

スポーツによる南部地域・東部地域の振興

参加型スポーツイベントの実施



奈良マラソン
2013



女子サッカー

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
トップアスリートの育成		育成方針を研究	育成を実施	
地域トレーニングセンター機能の整備検討		基本構想の策定	整備等を実施	
ラグビーワールドカップ・東京五輪キャンプ地招致に向けた調査・検討			招致調査・検討・準備	
プロスポーツによる地域の振興			PR活動の実施	
スポーツによる南部地域・東部地域の振興				
◎サイクルスポーツイベントの開催支援		開催支援を実施		
◎アウトドアスポーツ開催事業		アウトドアスポーツイベントの実施		
◎紀伊半島三県クラブスポーツ大会普及事業		クラブスポーツ大会の実施		
◎小辺路を活用したツアーイベントの開催支援（トレイルラン）		ツアーイベントの開催支援		
参加型スポーツイベントの実施				
◎奈良マラソンの実施		奈良マラソンの実施		
◎バトンをつなげ！400mリレーフェスティバルの実施		リレーフェスティバルの実施		
◎リレーマラソン大会の実施		リレーマラソンの実施		

これまでの成果

旅行会社と提携し、パック旅行を企画したことにより奈良マラソンへの**海外からのエントリー数**が52名(H24)から**133名**(H25)に増加しました。

だれもが運動・スポーツを楽しめる場を提供するため、サイクルイベント「ヒルクライム大台ヶ原 since2001」において、**カップルクラスや親子クラスを増設**し、昨年に比べて参加者が**50名増加**しました。

スポーツ支援センターが積極的に市町村及びクラブを訪問・相談・啓発、また、**毎年アシスタントマネジャー養成講習会を実施**していることにより、**総合型地域スポーツクラブ育成率が92.3%**(全国11位)、**アシスタントマネジャーが106人**(全国21位)と増加しました。

主な指標の動き

よくなっている指標

◆ 1日30分以上の運動・スポーツの週2回以上の実施率

35.0%(全国26位)[H23] → 36.4%(全国25位)[H24]

・運動・スポーツを継続的に実施する人が徐々に増加しています。

◆ 総合型地域スポーツクラブ育成率

38.5%(全国47位)[H21] → 92.3%(全国11位)[H25]

・平成22年度にスポーツ支援センターが開設し、市町村等への訪問活動を強化した結果、育成率が上昇しています。

変化が見られない指標、低下している指標

◆ 国民体育大会成績(天皇杯)

全国38位[H11] → 全国37位[H25]

・過去15年間の結果を見ると、3大会は20位台の成績でしたが、全体ではあまり変化が見られない状況です。

◆ 国民体育大会成績(皇后杯)

全国33位[H11] → 全国43位[H25]

・過去15年間の結果を見ると、成績は大幅に低下しました。特にジュニア女子の成績が低迷しています。



バンビシャス奈良 笠原太志選手（奈良県出身）



総合型地域スポーツクラブ交流大会
（ノルディックウォーク）



紀伊半島三県クラブスポーツ大会



カヌー体験教室（大滝ダム）